

報道関係者 各位

鳥取大学医学部  
令和3年7月27日

## ヒト化マウスを用いたヒト吸収予測に成功 ～医薬品の創薬・開発研究への応用に期待～

日頃より、鳥取大学医学部の教育・研究活動へのご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、本学教員を含む研究グループが、鳥取大学発の独自技術を応用したヒト化マウスを用いて、薬のヒト経口吸収予測に成功しましたのでお知らせします。

つきましては、取材についてご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 【概要】

P 糖タンパク質 (P-gp) は最も研究されている薬物排出トランスポーターの一つであり、その幅広い基質認識性から多くの薬の経口吸収を調節しています。培養細胞などを用いた in vitro での薬物吸収評価系は、生体環境との類似性の低さゆえに高精度な薬物吸収評価は不可能でした。このたび、本学部の香月 康宏准教授および中外製薬株式会社の研究者らのグループ(※)が染色体工学技術を用いて開発された P-gp ヒト化マウスを用いて、ヒトの薬物吸収予測に成功いたしました。

これにより、医薬品の創製・開発研究などへの応用が期待されます。

(※) 中外製薬株式会社、Trans Chromosomics、明治薬科大学の研究者を含む研究グループ

つきましては、下記のとおり、記者説明会を開催しますので、是非とも取材いただきますようよろしくお願いいたします。

記

### 【記者説明会】

- ◆ 日 時: 令和3年8月2日(月)11時00分～
- ◆ 場 所: 鳥取大学医学部附属病院 会議室4(第二中央診療棟2階)
- ◆ 出席者: 鳥取大学医学部生命科学科細胞ゲノム機能学分野

鳥取大学染色体工学研究センター 准教授 香月 康宏

※ ご出席を希望される際は、事前に別添「誓約書」の内容をご確認いただき、当日は誓約書をご記入・ご持参の上、ご来院いただきますようお願い致します。

(誓約書内容に☑できない事項がある方、山陰両県外に居住の方は事前に別途ご連絡ください。)

【共同研究グループ】

研究主体	研究責任者
	<b>鳥取大学</b> 医学部 生命科学科 分子細胞生物学講座 細胞ゲノム機能学分野 准教授 香月 康宏
	<b>中外製薬株式会社</b> 医科学薬理部 ファーマコメトリクス 2G 三宅 泰司
 <b>明治薬科大学</b>	<b>明治薬科大学</b> 薬剤学研究室 教授 小林 カオル
	<b>株式会社 Trans Chromosomics</b> 研究開発部 嵩原 昇子

【取材お問い合わせ先】

鳥取大学米子地区事務部総務課広報係 TEL:0859-38-7037 FAX:0859-38-7029 E-mail: <a href="mailto:me-kouhou@adm.tottori-u.ac.jp">me-kouhou@adm.tottori-u.ac.jp</a>	中外製薬広報 IR 部 メディアリレーションズグループ TEL:090-8000-7893 E-mail: <a href="mailto:pr@chugai-pharm.co.jp">pr@chugai-pharm.co.jp</a>
明治薬科大学総務部広報課 高橋 靖拓 TEL:042-495-8615 E-mail: <a href="mailto:koho@my-pharm.ac.jp">koho@my-pharm.ac.jp</a>	株式会社 Trans Chromosomics 研究開発部 嵩原 昇子 TEL:0859-30-3494 E-mail: <a href="mailto:stakehara@trans-chromo.com">stakehara@trans-chromo.com</a>